冬になり、ある日積雪があった。AとBは雪だるまを二人とも手袋をして造っていた。

Bは手袋をはめた手を指し示した。それには意味があり、去年の冬に祖母がくれた手袋だった。

Aは「Bが喜んでいてくれる」という喜ばしさと「Bに恩恵を施した」という気持ちがAの心の中で交じり合って動いていた。

AとBは屋根に登り、あたりの景色を見渡した。

Bは屋根から滑り落ちてしりもちをついた。

AとBの関係は滑らかであった。